

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>	英語ⅡB 単位未修得者クラス E2S51 English IIB Class for students who haven't earned credits					担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 桂山 康司				
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	1単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	火4		配当学年	2回生以上		対象学生	全学向	
[技能領域]											
アカデミックリーディング											
[授業の概要・目的]											
単に表面上の大意を把握するだけでは飽き足らずに、さらに、言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ得するには、文学に親しむことが一番の近道である。しかし、文学というのはどこか近寄りたいたいところがあって、文学作品をただ漫然と読むだけでは、どこまで味わうことができるのか、覚束ないところがある。いわんや、日本人には外国語である英語で書かれた作品を味読するとなればその困難はなおさらであろう。そんな悩みのある方にお勧めなのが、英文は平易だが、その語る内容には、徒(あだ)やおろそかには読み飛ばせない、奥行きを感じさせる古典作品の講読である。言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ得し、言語表現に対する感性を鍛錬すると同時に、異文化理解を通じて、人間理解を深めることを目指す。											
[到達目標]											
英詩には、英語固有のリズムが芸術的なまでに昇華されており、その響きに親しみ、それを暗誦することは、英語に対する音感を高めるのに高い効果が期待できる。英文学の粋である作品を暗誦して優れた表現に親しみ、リズム感を涵養することを通じて運用力向上を目指す。											
[授業計画と内容]											
イギリスを代表する劇作家シェイクスピア（1564-1616）が書いた芝居の名場面の科白を暗誦する。『お気に召すまま』、『ハムレット』、『マクベス』、『テンペスト』等の作品から名場面を選び抜き、徹底的に言葉を分析、味わうことと並行して、それを本場の名優さながらに朗唱することができるように繰り返し練習し、名セリフに感じられる詩のリズムを感じ得することを通じて、英語の音声やリズムの特徴について理解を深める。 第1回 導入 英詩のリズムについて 第2～3回 『マクベス』 第4～6回 『お気に召すまま』 第7～10回 『ハムレット』 第11～13回 『テンペスト』 他 第14回 まとめ											
[履修要件]											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
----- 英語ⅡB 単位未修得者クラス E2S51(2)へ続く↓↓↓											

英語ⅡB 単位未修得者クラス E2S51(2)

[成績評価の方法・観点]

授業への出席を前提とする。期末に行う試験の成績を中心として(80%)、それに授業への積極的な参加等の日常の活動を加味して(20%)、評価する。

[教科書]

Peter Milward 『Memorable Speeches from Shakespeare』 (南雲堂) ISBN:4523036535

[参考書等]

(参考書)

小泉博一他(編) 『イギリス詩を学ぶ人のために』 (世界思想社) ISBN:4790707997

[授業外学修（予習・復習）等]

とりわけ、緻密な予習が肝要であることは言うまでもない。最も重要なことは、自らの読みを、理解が不十分であるということも含めて、前もってしっかり確認、意識して授業に臨むことである。

[その他（オフィスアワー等）]

英語史や英詩のリズムに対する予備知識は一切必要としない。詩や詩的な表現になんとか関心があるという方、大歓迎。